

(第1部前半) 町田市中心市街地のまちづくりに関する意見交換会 質疑応答 (案)

開催日：2025年11月17日 (月)

開催時間：15時30分～16時50分

場所：町田市文化交流センター(けやき)

<質疑応答>

1 アクセス・交通インフラ・回遊性

No	質問	回答
(1)	芹ヶ谷公園の認知度が低く、今回の説明資料では内容が不十分。また、公園への道しるべや駐車場が不足している点について、市の課題認識はあるか。	芹ヶ谷公園は、原町田大通りの先に国際版画美術館や多目的広場などがある大きな公園です。本日は、国際工芸美術館の整備を契機として、芹ヶ谷公園全体を再整備していこうという取り組みとともに、中心市街地と連携した取り組みができないかという思いを持って説明をさせていただきました。また、駐車場の拡幅は、周辺交通量の増加の懸念から現時点では難しいですが、道しるべなどのアクセス改善につきましては、民間と協力していきたいと考えております。
(2)	原町田大通りの延伸が予定されているが、その先の道路が未整備では交通渋滞が懸念される。駐車場を増やせない理由と矛盾しないか。	延伸先の道路も将来的に拡幅される計画となっており、駐車場もその際に併せて検討いたします。
(3)	駐車場が拡幅整備されると、車で直接公園に向かう家族連れが増え、中心市街地との回遊性が生まれにくいのではないかと懸念される。どう連携させるのか。	駐車場の拡幅規模には限界があるため、電車など公共交通機関をご利用いただくことになり、駅周辺からアクセスしていただくことが見込まれます。公園までの道のりも楽しめるよう工夫して回遊性を高めることや、多様な層が訪れる公園にすることで連携を図りたいと考えております。
(4)	芹ヶ谷公園と中心市街地との連携の前に、公園へのアクセス路である原町田大通りの中央分離帯の雑草が景観を損なうことや車両からの死角を生み出し危険なため、まずその整備を求めたい。	雑草の状況など、都度現地を確認したうえで、対応や調整を行います。
(5)	文学館通りの整備を、更にその先の芹ヶ谷公園まで延伸する計画はあるか。	現時点で、計画はございません。

2 公園のコンセプト・利用層・施設内容

No	質問	回答
(1)	公園が鬱蒼としており、市は今後「公園」「森」のどちらを目指すのか。また、芸術に偏った整備ではなく、生活に寄り添った整備も必要ではないか。	民間活力も導入し、「公園」として管理を強化する方針です。また、芸術をより身近に感じていただき、多くの人に来ていただける公園を目指します。
(2)	今回の整備のターゲットが若い世代向けとなっている。中心市街地から公園へのアクセスする際に、立地的に急勾配で高齢者が利用しにくいのではないかと懸念される。子育て世代以外への配慮はあるのか。	エレベーターやスロープを設置し、バリアフリー化を進め、幅広い世代が楽しめる公園を目指します。子育て世代だけでなく、高齢者の方々にも楽しんでいただけるよう工夫をまいります。
(3)	芸術は敷居が高く、子どもが日常的に訪れるにはアートと融合した遊具やボール遊びができる広場などが必要ではないか。	ご意見を受け止め、今後何ができるか検討してまいります。

3 計画全般・効果予測・その他

No	質問	回答
(1)	芹ヶ谷公園の現在の年間利用者数と、プロジェクト完了後の想定利用者数を教えてほしい。	少し古い情報となりますが、2020年時点の約51.5万人から、約21万人増の72.5万人になると試算しております。
(2)	地権者や芹ヶ谷公園につながる深い方々の意見を聞いて、その方々にメリットのある整備を進めるべきではないか。	ハード面の変更は難しいですが、運営などのソフト面でぜひ連携をお願いしたいと考えております。
(3)	町田商工会議所青年部で中心市街地の原町田大通りなど「縦の人流」創出を議論した。芹ヶ谷公園等を活用したコスプレイベントやナイトマーケットなどのアイデアがあり、意見交換の機会を設けてほしい。	改めて詳細な内容をお伺いできるような機会を設けられるよう検討してまいります。

# (第1部後半) 町田市中心市街地のまちづくりに関する意見交換会 意見

開催日：2025年11月17日(月)

開催時間：17時00分～17時55分

場所：町田市文化交流センター(けやき)

## 1 会議概要と目的

議題：「今、町田に必要なこと・問題点」と「今後5年間の理想の姿」

目的：まちづくりの方向性を共有し、意見を交換する

その他：本意見交換会で出た意見を、次回以降の意見交換会で取り扱う

## 2 町田の現状の課題と必要なこと

### (1) 連携と回遊性：

- ① 芹ヶ谷公園と中心市街地の一体感不足（案内板、デザイン統一、ナビアプリの提案）
- ② モノレール延伸・駅前再開発に関する情報不足、既存商店街への影響への懸念

### (2) まちの美観と治安：

- ① 早朝の街の汚れ（ポイ捨て、吐しゃ物）指摘、喫煙所・ゴミ箱再設置、美化活動の要望
- ② 「客引き問題」の早期解決

### (3) 再開発計画と情報共有：

- ① 現在の再開発計画から漏れている地区への配慮
- ② 情報共有の効率化（クラウド活用など）の提案

### (4) 若者・インバウンド向けアプローチ：

- ① 若者の意見をまちづくりに活かす場の創出
- ② インバウンド観光客誘致のためのイベント・仕組み作り

## 3 今後5年間の町田の理想像

### (1) 交通環境：

- ① 歩行者天国への一般車両進入の厳格な取り締まり
- ② FC町田ゼルビアバスの安全な乗降スペース確保、踏切撤去などのインフラ整備

### (2) 新たな魅力と賑わい：

- ① 集客の核となる施設の早期具体的な計画提示
- ② 町田名産品を活用した共通商品開発と魅力発信

## 4 共通認識として強調された点

(1) 道路や公園などの「ハード面」の整備だけでなく、その活用方法（「ソフト面」）の計画が不可欠

(2) ハードとソフトを一体的に検討することの重要性